

# ARCHIBLADE | アーキブレイド

「笠木のラインを少しでも細くしたい、目立たないようにしたい」、という市場からのニーズに応え開発したフラットバー形状のアルミ笠木。

## 1 細くシャープな陰影によって、美しく魅せる

パラペット天端のラインを、細くシャープな陰影によって、美しく魅せることができます。表面はショットプラスト仕上げのため、ダイスマーク(アルミ押出製作でできる線)が目立ちません。(シルバーアルマイト、ステンカラーのみ)

## 2 吹き上げた雨水が浸入しにくい

70mm突き出た先端部の、軒裏には1/60の勾配がついており、吹き上げた雨水が浸入しにくく、雨だれも付着しづらい構造のため、外壁面をきれいに保つ事ができます。雨水の浸入が特に懸念される場合には、コーキング仕様も可能な形状になっています。

## 3 レベル調整が必要な現場に対応

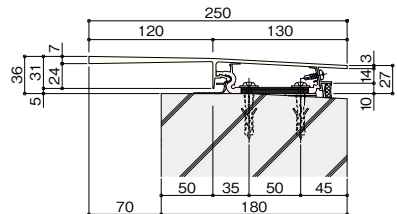
ガスケットが5mm刻みでカット可能なため、レベル調整が必要な現場に対応できます。



## ■ デザイン



## ■ 基本断面図



## ■ 外装仕上げイメージ

笠木のラインをシャープに見せながら7mmの肉厚は重厚感を醸します。

ショットプラスト仕上げの温かな表情と70mmの持ち出しが削り出す陰影が、今までにないパラペットラインを演出します。

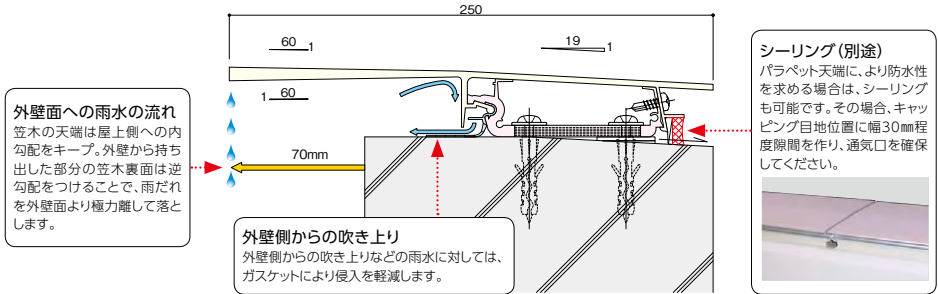
### 吹き付け仕上げ



### タイル仕上げ



## ■ 雨仕舞



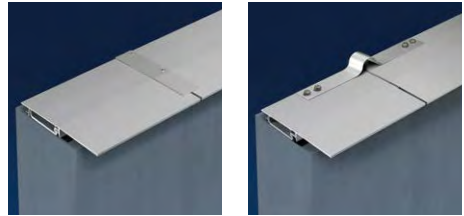
## ■ ショットブラストと通常の表面処理の比較

カバー材の表面処理にはショットブラスト(梨地調仕上げ)を採用。ダイスマークをなくし、柔らかな反射光を演出します。  
 (在庫品:シルバー、ステンカラー限定です)



## ■ 目地プレート

カバー材外壁持ち出し部分は空目地です。笠木を見上げた時のジョイント目地に被せる目地プレート仕様もございます。



## ■ 受雷部システム対応

受雷部システムとしての納まりも可能です。

## ■ 製品仕様

部材名	材質		定尺(mm)	
カバー材(キャッピング)	直線部	アルミニウム押出形材	L=4,000	
	コーナー部		L=1,950(45度トメ加工)	
下地材(ホルダー)	アルミニウム押出形材		L=50	
継手(ジョイントプレート)	直線部	アルミニウム押出形材	L=150	
	コーナー部		L=150×150(接着加工)	
ガスケット	直線部	塩ビ	L=4,006	
			出隅	L=1,955.6(45度トメ加工)
	コーナー部	塩ビ	出隅	L=1,908.8(45度トメ加工)
			入隅	L=1,908.8(45度トメ加工)

※一般的なオープン笠木同様、完全に密閉する構造ではありません。パラペット天端はしっかりとした防水処理を施してください。

## ■ 対応カラー

ショットブラスト



シルバーアルマイトクリア



ステンカラークリア